



逆瀬川 あゆみだより

NO.222 2026.1

社会福祉法人

聖隷福祉事業団

逆瀬川あゆみ保育園

宝塚市逆瀬川 2-2-8

TEL0797-77-0415

～新しい年を迎えられた恵みに感謝致します。

この1年も神様どうぞ、子ども達、保護者の皆様、職員をお守り下さい。

そして、子ども達が生きていく世界が平和でありますようにお祈り致します～

新しい年を迎えました。年末年始は充実した時間を過ごせましたでしょうか。

12月のクリスマス祝会ではご参加、ありがとうございました。アンケートにもご協力頂き、感謝しています。2・3歳児クラスのページェント準備時に、子ども達の日常の様子やアドベントが始まってからの姿についてお伝え出来なかったエピソードがありましたので、紙面になりますが、お伝えさせていただきますね。(できれば私も私の言葉でお伝えしたかったです。ごめんなさい・・・)

まず、ひつじ組のエピソードです。

・12月に入ってから、歌に触れる機会が増えていくと、子ども達から「この曲好き！」や「この曲歌いたい！」などの言葉が多く聞かれるようになっていきました。中には、ページェントの劇中の曲をすべて歌えるようになっていた子どもさんもいて、「好き」という感性から「覚える」になっていたとしたら素晴らしいなと感じます。

・16日に総練習をおえたひつじ組。17日に数人の子ども達が人形劇ごっこを開始します。お世話ごっこの赤ちゃん人形がイエス様になり、風呂敷を羽に見立てた天使役が登場し、段ボールの台紙を原稿に見立てたナレーターが現れ、再現遊びの始まりです。舞台は、大型のソフトブロックと段ボール・・・馬やひつじは、動物人形です。ナレーター役の子どもが話を進行していきます。もちろん、スムーズにいかなかったり、舞台が途中で崩れたりしますが、そこは担任も入っているのでフォローしつつ進んでいきました。

この遊びが始まった時、担任も主任も鳥肌がたつたと話していました。私も20年以上、聖隷でこの仕事をしてきましたが、人形劇ごっこを再現した子ども達は初めてです。何より、子ども達が自分達で考えて遊びを作ろうとしている姿や、楽しんでいるのが感じられ、とてもわくわくしました。毎年、野上あゆみ保育園と連携をとり、3・4・5歳児が演じているページェントを見学に行かせて頂いていたのですが、今年度は感染症の関係で残念ながら、その機会がありませんでした。大人の心配はよそに、見たものを素直に受け取り、自分達のまわりにあるものや自分が役になることで表現していた子ども達は、本当に素敵でした！

・ひつじ組は、クリスマスまでの数回、給食時に部屋の電気を消し、ろうそくをつけ、少し高級なレストラン風な雰囲気の中で、食事をしました。(これは、担任の好み?(笑)もちろん、私が許可しています)雰囲気ってすごいな・・・と、何度感じたことでしょうか。何も言わなくても子ども達の声は自然と小さくなり、すこし背筋が伸びるようなそんな姿に、思わず「可愛い」と笑みがこぼれてしまいました。ピアノの生演奏付きの日もありましたよ!他の職員の協力があってこそ・・・かもしれないですね。

今年もよろしくお願ひ致します。 辻田 紀子

12/20(土)のクリスマス祝会へのご参加ありがとうございました。

アンケート結果の内容を少しお伝えいたします。

- とても素敵なクリスマス祝会でした。みんな楽しそうでした。
- お忙しい中、子ども達のために準備して下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。
- キリスト教についてあまり知らないことが多かったのですが、人形劇を通してお話がよくわかりました。
- 1部2部3部で雰囲気が変わって楽しかったです。
- 園長先生から子ども達の普段の様子を聞いてよかったです。
- いただいたクッキーがとてもおいしかったです。機会があればレシピを教えていただくと嬉しいです。
- 撮影のタイミング(2部から3部への切り替わり)が微妙にわかりづらかったので、そのアナウンスを工夫していただくと嬉しいなと思いました。
→来年は切り替わりの場面でお伝えするようにしたいと思います。
- 案内が何回かに分かれてきたので、何をどこで見ればいいのか、情報が分かれていてすこしだけ分かりにくかったです。 → 来年度、まとめて配信できるものはするように検討していきます。
- ひつじの衣装が可愛すぎたので写真に残せなかったのが少し心残りです。
→ひつじの衣装を着た子ども達の姿は、総練習の日に「はいチーズ」のカメラマンに撮影してもらっています。写真販売もありますのでご覧ください。

🌳 1月の予定 🌳

5日 保育始め

24日 宝塚保育学会

5・13・19・26日 礼拝

※ 職員が学びのために、学会に参加をします。

20日 安田式体育あそび

家庭保育のご協力をお願いいたします。

主が見守ってくださるように



「あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。」 (詩編121:8)

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

あけましておめでとうございます。今年も神様の祝福が豊かにありますようお祈りいたします。上掲のみ言葉は、よく旅行などに出かける時のお祈りに用いられます。出発する時から帰って来る時まで、その全行程において、神様が守ってくださるようにと祈るのです。旅行だけではなく、一年を始めるに当たっても、年頭から年末に至るまで、そして一年間だけではなく、「今も、そしてとこしえに」つまりいつまでも、全知全能の神様が守り支えてくださることを祈り求めます。天地を創造された神様は、真実なお方です。独り子イエス様をお与えくださるほど、私たちを愛していただきますから、私たちが信頼していくなら、あらゆる災いから守っていただきます。この年、真実な神様に、こちらも真実をもって信頼していきましょう。